

—東京国体・柔道成年男子— 千葉県の優勝に京葉ガス柔道部3選手が貢献

第68回国民体育大会「スポーツ祭東京2013」の柔道競技成年男子の部が10月6日から2日間にわたり東京武道館（東京都足立区）で行われ、京葉ガス柔道部から3選手が千葉県代表チームの一員として出場し、2年ぶり3度目の優勝に貢献しました。



千葉県成年男子チームの(左から)中濱コーチ(京葉ガス柔道部監督)、西岡選手、下和田選手、岩尾選手

柔道成年男子は5階級で争う団体戦で、京葉ガス柔道部の西岡和志、下和田翔平、岩尾敬太の3選手がそれぞれ千葉県代表チームの次鋒（73kg級）、中堅（90kg級）、大将（無差別級）として一員を務め、先鋒（60kg級）の石川裕紀選手（了徳寺学園職）と副将（90kg超級）の穴井亮平選手（同）とともに2回戦から5試合を戦い抜き、千葉県の2年ぶり3度目の優勝に貢献しました。

6日、千葉県は初戦の2回戦で香川県と対戦し、2-0で勝利しました。7日は青森県との3回戦を4-0、準々決勝は三重県を3-0で下しました。続く準決勝は地元チームで強豪の東京都に対し2-1で接戦を制しました。

決勝の相手は昨年優勝の宮崎県。先鋒の石川選手が開始21秒に内股で一本を奪いチームに勢いをつけると、次鋒の西岡選手は互いに攻め合う拮抗（きっこう）した試合展開を見せ引き分け、中堅戦につながりました。下和田選手は積極的な試合運びで攻め続け、終了間際に相手選手に3つめの指導が入り優勢勝ち。貴重な1勝を追加しチームを優位にすると続く副将の穴井選手が一本を奪い3勝目を挙げ、千葉県の優勝が決まりました。